

価格は本体価格です

内田クレペリン検査

(金子書房)

テストの標的	ドイツの精神医学者、エミール・クレペリンの1904の論文「Die Arbeits Curve」を源流に持つ数字の連続加算作業検査です。本検査は隣り合った「数字」を暗算で足して、その答えを数字と数字の間に書いていく、という連続加算作業で、1行につき1分間の制限時間で、1分毎に行を変え、前半15分(15行)。後半15分(15行)行い、最終到達地点を結んだ作業曲線(クレペリン曲線)を解釈して診断を下していく検査です。テストの標的は受験者の「作業能率」の他、「仕事の質」(仕事ぶり・仕事癖・作業スタイル)等が打診でき、仕事への「取り組み姿勢」や「精神活動特性」が診断できます。									
適用年齢	中学生～高校生・大学生・成人									
実施時間	45分～50分									
学校用判定	中学・高校／標準型用紙・コンピュータ判定料込み 1名分 600円(税込648円) <table border="1"><tr><td>(内訳)</td><td>用紙1枚</td><td>100円</td></tr><tr><td></td><td>判定1名</td><td>500円</td></tr><tr><td></td><td>処理日数</td><td>約3週間</td></tr></table>	(内訳)	用紙1枚	100円		判定1名	500円		処理日数	約3週間
(内訳)	用紙1枚	100円								
	判定1名	500円								
	処理日数	約3週間								
検査用紙 関連書籍 その他	検査用紙・標準型(成人・大学生・高校生・中学生) 1部 100円 解説書「基礎テキスト」 4,500円 数量的評価法 850円 定型スケール 1,100円 誤答調べ尺 1,100円 X-1カード(判定練習カード) 3,000円									
講習会	本検査を手採点で判定するには専門知識が必要です。「日本・精神技術研究所」の「基礎技術講座」の受講をおすすめします。									